



# だれもが「住んでよか

令和4年度からの「子育て世代応援プロジェクト」を推進・拡大するとともに、令和5年度は、さらに多様な世代にアプローチし、世代を超え、だれもが「小松島市に住んでよかった」と思っていただけまちづくりのため、優先的に取り組む4つの重点施策として次のような事業を中心に展開します。

## 「小松島市子育て世代応援プロジェクト」の推進・拡大

### 水稲農家と子どもたちのための

#### 地産地消推進事業 …… 15,808千円

市内水稲農家より地元JAを介して新米を買い上げ、子育て世帯への無償提供を行うことで、経済的支援、地産地消による食育推進につなげます。



#### ステーションパークの整備 …… 125,625千円

親子が安心して遊べる空間としてステーションパークの改修設計、SL記念広場へのインクルーシブ遊具設置および駐車場整備を行います。

#### 利用者支援事業 …… 11,715千円

「無園児」とよばれるお子さんとそのご家庭を対象に、新たに開設する児童福祉センターと家庭総合支援拠点を連携させ、「孤育て(こそだて)」の解消に努めます。

#### 学校給食費支援事業 …… 10,000千円

学校給食費に関して補助を行い、保護者負担額の値上げを抑制することにより、子育て世帯への物価高騰の影響を軽減します。

#### 木育の推進 …… 1,118千円

1歳6か月児健診受診者に県産材木製玩具を配付するとともに、小学生を対象として木育ツーリズムを実施することで、子どもたちの豊かな感性の醸成に努めます。

## DX(デジタルトランスフォーメーション)化の推進

#### コンビニ交付サービス導入事業 …… 13,854千円

マイナンバーカードを利用することで、コンビニエンスストア等で「いつでも・どこでも・すぐに」住民票と印鑑登録証明書を受け取ることができるサービスを実施します。

#### 道路管理システム導入 …… 30,869千円

道路台帳のデジタル化に伴い、GIS(地理情報システム)の活用による路線情報や位置情報も紐づいた一体的管理型のシステムを導入するとともに、これをHP上に公開することにより市民・事業者等の利便性向上を図ります

#### AIドリル導入推進事業 …… 13,290千円

児童生徒それぞれの理解度やつまずきを解析、必要な学習課題を出題する「AI型ドリル」を市内小中学校に導入するとともに、校内のWi-Fi環境を増設し、様々な場所で児童生徒の興味関心の幅を広げる学習が実施できる環境を整備します。

